

松原市における要配慮者利用施設の避難確保計画作成講習会(2019.11.25/12.9 2日間)

前期講習会

11月25日(月)

避難確保計画作成のポイント説明に加え、避難確保計画の作成における情報共有を目的として、「ワールドカフェ方式」で行いました。リラックスした雰囲気の中で、他の施設の参加者と活発な意見交換を行い、計画作成上の問題点や課題、良い取組等を共有しました。

後期講習会

12月9日(月)

社会福祉施設等、学校、医療施設の3つのグループに分かれて検討を行いました。自施設の浸水深及び浸水継続時間の確認を行い、安全な避難先及び避難経路を複数検討し、避難経路図の作成を行いました。講習会終了後には、計画作成相談窓口の設置を行う。



①避難確保計画作成におけるポイントの説明

②みんなで意見を出し合い、付箋に書き込み、情報共有

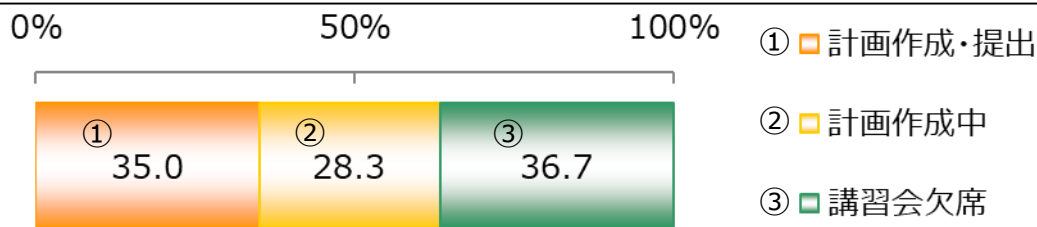
③様々な課題や知恵を共有(スマートフォンで撮影)

①避難場所・避難経路・避難のタイミングの検討

②避難経路図の作成

③講習会終了後の相談窓口

講習会 実施結果



施設管理者以外にも、松原市の協力で、他市町村の担当者も講習会を見学。(他市町村アンケート結果)

- 施設管理者を一堂に会して、計画を作成させる講習会を参考にし、実行させたい。
- 施設管理者が、計画作成するにあたり、どういった事に悩んでいるのかがわかった。

参加施設における主な意見

避難場所
避難路



(やるべきこと、課題など)

- 避難場所の設定
- 避難経路の確認(利用者)
- 避難場所の状況把握
- 水害時は避難する所が遠い
- 段差の多い階段
- 避難通路が狭い

(施設で工夫していること)

- 避難先の確保と周知徹底
- 避難場所の掲示
- ガイドマップでの確認
- 避難先との連携をとっている
- 避難先の施設(学校)と連携
- 避難通路確保

避難誘導
体制等



- 24時間の連絡体制
- 職員間でSNSを共有
- スタッフの連絡先を紙で持つ
- 緊急時の連絡網の整備
- 緊急時引き渡しカードの作成
- 警報時 待機・休園 メールによる連絡
- 保育中に警報発令時は 降園(メール通知)
- 保護者には全員一斉配信メールで即座対応
- 保護者引き取りカード
- 夜間連絡網作成
- 夜間を想定した職員への連絡
- 利用者にも注意を促している(危ないと思ったら来ない事) など

- 自主的に行動できるようにする体制づくり
- 主とサブの徹底(役割分担)
- スタッフの連絡先を紙で持つ
- 法人としての意思統一
- 夜間支援がない
- エレベーターがない
- 女の人が多い(助けるとき力弱い)
- 車の移動に人手がいる、運転者不足
- 情報共有の方法、患者様への情報提供
- 職員が固定でない
- 昼間の利用者と夜間のショートステイの利用者が違うので避難の連携が難しい
- 要介護者が多いため外への避難が危険
- 連絡が取れない人がいる
- 事業継続計画(BCP)の作成 など